

コード	501040403
記入日	H26.6.2

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈良尾中学校 2 5 棟教員住宅裏伐採搬出委託事業
----------	---------------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	1
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	3
事務事業コード	5010404	事務事業名称	教員住宅維持管理費	細目コード	369
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 教育住宅	(対象指標1) 1棟 (4世帯)					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・奈良尾中学校 2 5 棟 教員住宅裏伐採搬出委託 →幅36m →奥行き5m	① 伐採搬出委託 (達成率分析)	1.0式	100%	実施業務委託+ 計画業務委託	***** 平成25年度
② (達成率分析)						
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
・伐採対象となる樹木は、そのほとんどが手作業では困難な高い位置にあることから、ユニック車などの特殊車両を使って伐採搬出する。これらの作業によって、教員住宅及び近隣民間住宅への危険を回避するものである。	① 居住環境の向上 (達成率分析)					***** 平成25年度
② (達成率分析)						

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 25 ~ H 25		24年度以前	25年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	①					
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	1,530	1,530		1,530	1,530
直接事業費 A	千円	830	830		830	830
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円					
の 県補助金	千円					
財 起 債	千円					
源 内 其 他	千円					
内 一般財源	千円	1,530	1,530		1,530	1,530

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	本事業は、駐在員会議の中から上がってきた要望であり、地域住民のニーズを反映させるためにも事業執行は意義がある。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	当該区域の伐採によって、住宅環境の改善と倒木などによる近隣住宅への被害の可能性を解消することができたことから、目的は充分達成された。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	高木の伐採については、高所作業車を使用することによって安全面に配慮し、ダンプの積み込みにもクレーン車を使うなどにより事業の効率性を図った。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>住宅の背後は急傾斜地になっており、樹木の高さも10mを超えるものが多く危険であったことから、作業には高所作業車やクレーン車を使用することによって安全面に配慮した。また、高所作業車やクレーン車を使用するなどによる事業の効率性はもちろんだが、これら作業車を設置する道路の幅員が狭小であったため、交通誘導員を配置するなど、地域住民に対して交通に支障を起こさないための配慮に努めた。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>教員住宅及び近隣住宅への環境改善を図るため、今後の管理については住民等に支障がないよう適正な維持管理に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。